

●漁況情報

○ 10月から11月上旬にかけて、横須賀市大楠漁協の大型定置網でアカヤガラのまとまった入網が見られ、多い日には30kgの水揚げがありました。アカヤガラは吻（くちばし）が突出した変わった見た目をしていますが、刺身、焼き物、お吸い物など、なにで食べても美味しい魚です。水揚げがあった日には地元の魚屋でも販売されるそうなので、くわしくは漁協のブログ（下記URL）を参考にしてください。

・JF 横須賀市大楠漁協ブログ「佐島の地だこ★地魚情報局」URL：<https://sea.ap.teacup.com/sajima/>



見た目によらず美味しいアカヤガラ

●浜の話題

○ 10月17日、県が9月に開催した漁業体験研修に参加した高校生1名が、長井町漁協所属のかねしち丸さんを訪問し、しらす船びき網漁としらす加工の作業を体験しました。また10月24日には、同研修に参加した大学生1名が、鎌倉漁協所属の女性漁業者2名（小桃丸さん、新丸さん）およびしらす船びき網漁業者の三郎丸さんを訪問し、皆さんの話を聞きました。大学生は海女になることを志望しており、今回の訪問は将来の目標に向けて大変参考になったそうです。



鎌倉の女性漁業者から話を聞く大学生

○ 10月26日、腰越漁協の腰越漁業研究会に所属する漁業者5名が、貝けた網によるチョウセンハマグリ分布調査（特別採捕許可）を実施しました。満潮時を狙って浅場で調査したところ、殻長9cm前後の大きなチョウセンハマグリが43個、7.5kg採捕されました。今年は3回調査を実施して今回初

めてチョウセンハマグリが採捕され、調査に参加した漁業者はみな活気づきました。



調査の採集物を囲む漁業者



採捕されたチョウセンハマグリ

○ 10月27日、（公財）相模湾水産振興事業団は腰越漁協の協力のもと、平均殻長3.4cmのアサリ種苗10,000個を放流しました。当日は、同漁協腰越漁業研究会所属の若手漁業者5名が、生息に適した地先の砂泥質の海底を選んで放流を行いました。



アサリ種苗放流の様子



放流したアサリ種苗

○ 10月27日、鎌倉漁協のハマグリ部会所属の前田青年漁業士（もんざ丸）が、貝けた網によるチョウセンハマグリ分布調査（特別採捕許可）を実施しました。満潮時を狙って浅場で調査したところ、殻長7~11cm（9cm主体）の大きなチョウセンハマグリが24kg採捕され、新たな漁業対象種として期待が持てる結果となりました。



貝けた網調査の様子



採捕されたチョウセンハマグリ

- 10月29日、三浦市の金田漁港にあるレストランKANEDAに「神奈川県産食材の魅力発見・視察ツアー」に参加した首都圏のバイヤーやシェフ等11名が訪れました。このツアーは農林水産省が実施する6次産業化中央サポート事業にもとづくもので、外食・中食産業における神奈川県産食材の活用促進のため開催されたものです。当日はみうら漁協南下浦支所（金田湾地区）所属の飯嶋青年漁業士（寺下丸）が、塩蔵ワカメやアカモクを参加者に試食してもらうとともに、金田の地魚のPRを行いました。アカモクを初めて知った参加者もいて、ネバネバシャキシャキした食感を味わっていました。

●お知らせ

- 12月8日（火）16時より、当センター1階セミナー室において「トラフグ研修会」を開催します。発表内容は「神奈川県トラフグ採捕動向と放流効果調査」、「浜の道具箱 東海3県フグはえ縄漁業編 自由回答から見えてくるもの」の2課題です。トラフグはえ縄漁業者等、関係者の皆様のご参加をお待ちしております。くわしくは各地区の担当普及指導員または同センター栽培推進部（電話：046-882-2314）までお問い合わせください。